

目 次

第 1 章 景気の持ち直しとウクライナ情勢等による物価上昇

第 1 節 世界経済の動向 -----	3
1. 景気の持ち直しの進展 -----	3
2. ウクライナ情勢 -----	8
3. 世界的な物価上昇の進行と各国の対応 -----	27
4. 中国の厳格な防疫措置の動向と影響 -----	37
5. 世界経済の先行き -----	47
第 2 節 主要地域の経済動向 -----	78
1. アメリカ経済 -----	78
2. 中国経済 -----	89
3. ヨーロッパ経済 -----	109

第 2 章 持続的な経済成長と労働市場

第 1 節 デジタル化など新たな技術と労働市場 -----	141
第 2 節 労働生産性及び賃金の動向 -----	177

コラム目次

コラム 1	主要国におけるコロナ禍前を上回る家計貯蓄の動向 -----	60
コラム 2	国際金融資本市場の動向と新興国経済 -----	68
コラム 3	中国における技術革新と持続的な成長 -----	103
コラム 4	中国の地方政府の財政問題 -----	106
コラム 5	ウクライナ情勢を受けた欧州のエネルギー政策の方向性 -----	123

図 表 目 次

図表番号	図表名	ページ	図表番号	図表名	ページ
第1章					
第1-1-1図	先進国の実質GDP	4	第1-1-29表	IEA加盟国による	23
第1-1-2図	先進国の実質GDP 需要項目別の動向	4		戦略的石油備蓄の協調放出	
第1-1-3図	欧米の失業率	5	第1-1-30図	アメリカのエネルギー産出量	25
第1-1-4図	新興国の実質GDP成長率	5	第1-1-31図	OECDの影響試算(侵攻後1年間)	26
第1-1-5図	先進国の新規感染者数	6	第1-1-32図	G20諸国の消費者物価上昇率	27
第1-1-6図	先進国のワクチン接種完了率	6		(中央値)	
第1-1-7図	先進国の重症者数	6	第1-1-33図	各国の消費者物価上昇率の	28
第1-1-8図	中国の新規感染者数	7		寄与度の推移	
第1-1-9表	アメリカ及びEUの対ロシア制裁 (主なもの)	9	第1-1-34表	各国の主な物価高騰対策	29
第1-1-10表	ロシアの対抗策(主なもの)	10		(22年4月下旬時点)	
第1-1-11図	世界経済に占めるシェア	11	第1-1-35図	G20諸国の政策金利変更回数	31
第1-1-12図	国際商品輸出シェア	11	第1-1-36図	先進国のGDPギャップ	32
第1-1-13図	国際商品市況	12		(IMFによる推計)	
第1-1-14図	各国の商品輸入に占める ロシア・ウクライナからの 輸入の比率(2020年)	13	第1-1-37表	先進国の実質GDP水準、	33
第1-1-15図	ルーブル為替	16		GDPギャップ及び利上げ回数と比較	
第1-1-16図	ロシア外貨準備高	16	第1-1-38表	欧米の金融政策の動向	35
第1-1-17図	ロシアの株式指数(RTSI)	16		(2021年末以降、主なもの)	
第1-1-18図	ロシアCDS保証料率(5年物)	16	Box 図1	FRBによる金融引締めペース	36
第1-1-19図	ロシアの政策金利	17		(2010年代後半と22年の比較)	
第1-1-20図	ロシアの消費者物価上昇率	17	Box 図2	FRBのバランスシート(資産側)	37
第1-1-21図	ロシアの実質経済成長率	18	第1-1-39表	厳格な移動制限・休業措置等の事例	38
第1-1-22図	アメリカの財貿易の国別シェア (2021年)	18	第1-1-40図	鉱工業生産(地域別)	40
第1-1-23図	アメリカの対ロシア輸出入の推移	19	第1-1-41図	港湾コンテナ取扱量	40
第1-1-24図	ユーロ圏の財貿易の国別シェア (2021年)	20	第1-1-42表	22年の主な景気下支え策	41
第1-1-25図	ユーロ圏の域外への輸出入の伸びと 主要相手国の寄与(前月比)	20	第1-1-43表	経済安定政策パッケージ	42
第1-1-26図	中国の対ロシア財貿易の構成比 (2021年)	21		(6分野33項目の措置)	
第1-1-27図	中国の対ロシア輸出入の推移	21	第1-1-44表	中国(例:上海市)で	45
第1-1-28図	各国のエネルギー総供給に対する ロシアからのエネルギー輸入の比率 (2019年)	22		都市封鎖が起こった場合に	
			第1-1-45図	各国に影響が波及する可能性	
				輸出総額に占める中国への輸出額比率	46
			第1-1-46図	(アジア主要国等)	
				輸入総額に占める中国からの輸入額比率	46
			第1-1-47図	(アジア主要国等)	
			第1-1-48図	欧米の消費者マインド	47
			第1-1-49図	欧米の製造業景況感	48
			第1-1-50図	欧米の非製造業景況感	48
				欧米の製造業景況感(個別指数)	48

第1-1-51図	世界の財貿易量	49	コラム2 図8-1	資金流入の状況 (2022年1月以降(日次))	76
第1-1-52図	世界の鉱工業生産	49			
第1-1-53図	国際運送コスト(バルチック指数)	50	コラム2 図8-2	資金流入の状況 (2013年1月以降(月次))	76
第1-1-54図	グローバルPMI	50			
第1-1-55図	主要国の株価	51	第1-2-1図	実質GDP成長率	78
第1-1-56図	VIX指数	51	第1-2-2図	実質個人消費支出	79
第1-1-57表	IMFによる世界及び各国の 実質GDP成長率見通し(22年7月)	53	第1-2-3図	実質個人消費支出(財・サービス別)	79
第1-1-58表	OECDによる世界及び各国の 実質GDP成長率見通し(22年6月)	53	第1-2-4図	ケース・シラー住宅価格指数	80
第1-1-59表	IMFによる世界及び各国の 消費者物価上昇率見通し (22年4、7月)	55	第1-2-5図	住宅ローン金利	80
第1-1-60表	OECDによる世界及び各国の 消費者物価上昇率見通し (22年6月)	55	第1-2-6図	住宅着工件数	80
第1-1-61図	IMFによる各国の財政収支見通し (対GDP比)	56	第1-2-7図	住宅販売件数	80
第1-1-62図	IMFによる各国の政府債務残高見通し (対GDP比)	57	第1-2-8図	鉱工業生産指数	81
コラム1 図1	主要国の家計の貯蓄超過 (フロー、ストック)	61	第1-2-9図	製造業の設備稼働率	81
コラム1 図2	家計の貯蓄超過の要因分解 (アメリカ)	63	第1-2-10図	企業在庫の動向	81
コラム1 図3	家計の貯蓄超過の要因分解 (ユーロ圏)	63	第1-2-11図	実質財輸出(金額)	82
コラム1 図4	家計の貯蓄超過の要因分解 (日本)	64	第1-2-12図	実質財輸出(主要品目別)	82
コラム1 図5	主要国の家計状況	65	第1-2-13図	実質財輸入(金額)	83
コラム2 表1-1	新興国のファンダメンタルズ (直近の状況)	70	第1-2-14図	実質財輸入(主要品目別)	83
コラム2 表1-2	新興国のファンダメンタルズ (2019年第4四半期)	70	第1-2-15図	財貿易収支	84
コラム2 図1	新興国における財政収支及び 経常収支の推移 (2013、19、22年)	71	第1-2-16図	非農業部門雇用者数	84
コラム2 図2	原油価格の動向(2021年7月～)	72	第1-2-17図	失業率	85
コラム2 図3	小麦輸出シェア	72	第1-2-18図	労働参加率	85
コラム2 図4	とうもろこし輸出シェア	73	第1-2-19図	時間当たり賃金上昇率	86
コラム2 図5	穀物価格の動向(2021年7月～)	74	第1-2-20図	求人数と失業者数	86
コラム2 図6	為替相場の推移	75	第1-2-21図	自発的離職率	86
コラム2 図7	為替相場の推移(中東欧諸国)	75	第1-2-22図	業種別時間当たり賃金上昇率	87
			第1-2-23図	CBOによる経済見通し(22年5月)	88
			第1-2-24表	FOMC参加者による経済見通し (22年6月)	88
			第1-2-25図	中国の実質経済成長率	90
			第1-2-26図	地方专项債券の発行実績	90
			第1-2-27表	全人代で示された 2022年の主要目標等	92
			第1-2-28図	小売総額(名目)	93
			第1-2-29図	商品小売総額(名目)の主要品目	93
			第1-2-30図	都市部調査失業率	95
			第1-2-31図	一人当たり可処分所得	95
			第1-2-32図	財輸出入(金額)	96
			第1-2-33図	主な個別品目	96
			第1-2-34図	鉱工業生産(付加価値ベース、実質)	97
			第1-2-35図	鉱工業生産(付加価値ベース、実質) :製造業主要業種	98

第1-2-36図	固定資産投資	99	コラム5 表6	欧州における原子力エネルギーの活用	130
第1-2-37図	不動産販売	100	コラム5 図7	フランスの電源構成推移	131
第1-2-38図	金融機関貸出残高	101	コラム5 表8	レジリエンスプラン 概要	132
第1-2-39図	物価上昇率	102	コラム5 図9	実質GDP成長率見通し	134
第1-2-40図	生産者物価上昇率	102	コラム5 図10	HICP上昇率見通し	134
コラム3 図	「ロボット密度」の国際比較	104	コラム5 表11	IMK(独シンクタンク)の予測	135
コラム4 図	土地使用権譲渡収入と土地成約金額	108	第2章		
第1-2-41図	ユーロ圏の実質GDP成長率	109	第2-1-1図	EU諸国の技能不足度合い (2014年、国別平均値)	144
第1-2-42表	欧州主要国の経済活動の主な制限の 動向	110	第2-1-2図	先進国での教育・訓練プログラムへの 参加実績・希望	144
第1-2-43図	ユーロ圏の産業別実質GDPの水準	111	第2-1-3図	年齢層別にみた各国の技能レベル (男女別)	145
第1-2-44図	ユーロ圏の実質小売売上	112	第2-1-4図	機械化の影響で失われるリスクのある 雇用の比率	146
第1-2-45図	ユーロ圏のサービス業景況感	112	第2-1-5図	技能のレベル別にみた雇用シェアの 変化(2000年→2018年)	147
第1-2-46図	ユーロ圏の消費者信頼感	112	第2-1-6図	北欧4か国の就業率の推移 (25～64歳)	148
第1-2-47図	ユーロ圏の消費者物価上昇率	113	第2-1-7図	北欧4か国の賃金水準五分位別にみた 職種別雇用変化率(左) (2011→2015年、16～64歳)と 雇用が増加・減少した職業の例(右)	149
第1-2-48図	消費者物価上昇率寄与度	113	第2-1-8図	北欧4か国の製造業(左)と サービス業(右)の雇用者数	150
第1-2-49図	ユーロ圏及びドイツの鉱工業生産	114	第2-1-9図	北欧4か国の製造業(左)と サービス業(右)の二極化	150
第1-2-50図	ユーロ圏の生産制約要因	114	第2-1-10表	北欧4か国の製造業で 雇用者数の変化が大きい職種	150
第1-2-51図	ユーロ圏の鉱工業生産内訳	115	第2-1-11図	主要国のICTサービス輸出が サービス輸出に占めるシェア	151
第1-2-52図	ユーロ圏のPMI業務期待指数	115	Box 第2-1-B1図	65歳以上の要介護者のうち 自宅でケアを受けている人の比率	152
第1-2-53図	ユーロ圏の失業率	115	Box 第2-1-B2図	有資格准看護師数 (人口1000人当たり)	152
第1-2-54図	ユーロ圏の賃金上昇率	115	第2-1-12図	技能の不足度合いと労働生産性水準 (製造業、2014年)	154
第1-2-55図	英国の実質GDP成長率	116	第2-1-13図	技能の不足度合いと労働生産性水準 (卸売・小売業、2014年)	155
第1-2-56図	英国の実質小売売上	118			
第1-2-57図	英国の消費者信頼感	118			
第1-2-58図	英国の所得環境	118			
第1-2-59図	英国の消費者物価上昇率	118			
第1-2-60図	英国の消費者物価(要因別)	119			
第1-2-61図	光熱費とエネルギー価格	119			
第1-2-62図	英国の鉱工業生産	120			
第1-2-63図	製造業の納期及び受注	120			
第1-2-64図	製造業投入価格指数	121			
第1-2-65図	英国の失業率	122			
第1-2-66図	英国の求人数と就業者数	122			
コラム5 表1	エネルギーの価格安定性、供給安定性、 持続可能性に向けた行動方針	124			
コラム5 表2	REPowerEUにおける Fit for55との対応関係(例)	124			
コラム5 図3	EU27カ国の天然ガス及び 石油のロシア輸入依存度(2020年)	126			
コラム5 図4	ドイツの電源構成推移	128			
コラム5 表5	Easter Package 概要	129			

第2-1-14図	先進国の積極的労働政策 (歳出、対GDP比、2019年) 訓練に対する支出(左)とその他の 積極的労働政策に対する支出(右)	156	第2-1-32図	業種別平均時給前年比 日米の比較(年率、男性、全年齢)	174
第2-1-15表	民間企業の人的投資や個人の 自己啓発活動への支援策(各国の事例)	157	第2-1-33図	転職入職者の前職と比べた 賃金変化の構成比 日米の比較(男女計、2019年)	175
第2-1-16図	欧州諸国の転職率(2019年)	160	第2-2-1図	潜在成長率の動向	178
第2-1-17図	アメリカの入職者・離職者対雇用者の 比率(全業種、男性、季節調整値)	161	第2-2-2図	労働生産性の伸び (2001～20年の前年比の平均)	179
第2-1-18図	アメリカの労働者個人の 名目賃金上昇率(前年比、中央値)	162	第2-2-3図	賃金の伸び (2001～20年の前年比の平均)	180
第2-1-19図	年齢階層別にみた 賃金上昇率(上)と賃金水準(下) (いずれも中央値の平均)	163	第2-2-4図	労働生産性の伸びと賃金の伸びの関係	182
第2-1-20図	賃金上昇率の推移 (賃金水準の四分位別)	164	第2-2-5図	各国の労働生産性の伸びと賃金の伸びの 散布図(2001～20年平均)	183
第2-1-21図	管理職・技術職の賃金水準・上昇率の 推移(中央値、アメリカ・男性)	165	第2-2-6表	各国の労働生産性の伸びと賃金の伸びの 相関(1991～2020年)	184
第2-1-22図	営業・販売職、事務職及び生産・ 製造職の賃金水準・上昇率の推移 (中央値、アメリカ・男性)	166	第2-2-7表	先進国の賃金設定での協調方式 (2018年)	188
第2-1-23図	対個人向けサービス及び飲食・ビル施設 管理に関わる職種の賃金水準・上昇率の 推移(中央値、アメリカ・男性)	167	第2-2-8表	業種別データを用いて推計した 労働生産性(名目)に係る 名目賃金弾性値	190
第2-1-24表	職種及び転職経験の有無別の 平均賃金 (まとめ、1983年～2022年3月)	168			
第2-1-25表	職種及び転職経験の有無別の 平均賃金上昇率 (まとめ、1983年～2022年3月)	169			
第2-1-26図	年齢階層別平均月給前年比 (年率、男性、全業種)	170			
第2-1-27図	入職者月給/離職者平均月給 (季節調整値、全業種、男性)	171			
第2-1-28図	入職者平均月給/離職者平均月給 (季節調整値、全業種、男性)	172			
第2-1-29図	入職率・離職率 (季節調整値、全業種、男性)	172			
第2-1-30図	企業規模別平均月給変化率 (年率、男性、全業種)	173			
第2-1-31図	年齢階層別平均時給前年比 日米の比較(年率、男性、全業種)	174			